

### 自分の死を見届けるために

死というのは、非常に理解しにくい現象なのです。どう理解しにくいかと言うと、この世の中の現象というのは、たいてい見るとか聞くとか、なにか経験の手がかりがある。それで理解できるわけでしょう。ところが自分の死に限っては、経験できない。死ぬということ、はかならぬこの、自分が死ぬということなんです。人間は、死を知っている存在です。自分が死ぬということを知っている。これは不可解だ。なぜ知っているのかと考えると、わからない。ひとつの考え方としては、他人はみな死ぬものである。それ

わが家は笑い声で満ちている。子どもたちが帰ってきた。うん、今日は死ぬのにもよい日だ。(Many Winters, Nancy Wood, Doubleday) どういう死は病院では迎えられない。笑い声にあふれたわが家で、老人はいま死と対面しているのだが、心にあるのは美しいもの、内なる歌声、そして生命への慈しみである。

それは星の降る大地の上でしか、見ることも聞くことも感じることもできないものかも知れないが、誰しも天寿を全うしたときには、これに似た幸福感が得られるのではなからうか。死とはまさに生涯をかけての達成なのである。(まるもと よしお・作家)

橋爪大三郎

死というものは、経験的に確かめられたものである以前に、みんなですり思ひこむものだ、ということがわかりました。みんな人間は死ぬと思うから、まだ死んでいない人たちも、確実に死ぬと思えるわけです。そう考えられるとしますと、あべこべに、みんな死んで死ぬと思わなければ、みんな死なないうんだという前提で行動することもありうる

を見ているので、自分も死ぬのではないかと類推する。ということがありそうですが、よく考えてみれば、自分だけは絶対死なないんだ、と考える人間が出てきてもいいはずだ。だって、数ある人間のなかで、私(自分)とよべる人間はたったひとり(つまり例外)なのだから。それでも自分が死ぬと、どうしてみんなが考えるのか不思議なのです。私は、この謎をいろいろに考えてみたのですが、結局、結論はこうです。人間はみんな死ぬということを前提にして行動するもので

ある。ゆえにそれから逃れられなくなる。世の中の人間は、みんな誰もが死ぬと想定し、それを前提に行動しているわけです。そういう人間とつきあって社会生活をする以上、自分も死ぬということを日々想定し、行動するなかで確信せざるをえない。これを逃れる術は、個々人にとっては無理である。こういう構造をそなえているのが社会だ、と。これは経験的な知識と大変違ったもので、不思議なことだと思えます。そして子供のころ、誰だって必ず一度はこの問題を考えたいはずで

ゆえに、死はひとつのゲームである、と考えられないだろうか。ゲーム(言語ゲーム)といえ、人間の社会生活はみなそうとも言えるわけですが、それぞれにルールがある。だから、みんなが死ぬということもルールみたくになって、自分が死ぬことを疑えなくしているのです。

のではないか。たいへん不思議ですけど、そういうことはありうる。実は、そういう形をとった運動として、宗教を理解できるといふことが重要です。みんな死なないなんて、ちょっと考えにくいことである。現象としてみるなら、人間は目の前で腐って死んでいきます。そんなことは誰でも知っているわけですが、それでも死なないと思うわけです。ひとつは、キリスト教の考え方で、彼らによれば、人間が死ぬのは見かけだけで、本当にはまだ死んでいない。やがて神の呼びかけにこたえてムツクリ起き上がる。そして、最後の裁きを受け、うまくすれば永遠の生命を与えられることになつていく。もともと人間は死なない存在だったのです。それが何かの間違いで、神の命

令によって、死ぬことになっただけだから、本来の姿に戻った人間は死ななくていい。これを、みんなが堅く信じる——というのがキリスト教です。もうひとつ、ヒンドゥー教もあります。ヒンドゥー教は、人間がバタバタ死んでしまうという悲惨な状態を日々目の当たりにしている人たちの考え方なんでしょうけれど、人間は死んでも必ず、もう一回生き返る。いや、一回、二回とケチなことを言わず、何回でも永遠に生まれ変わり続けるのである。そう考えられるんですね。みんなですり考え、それを前提に生きていけると、確かにそうなる。人生の目的は、来世によりよい世界に生まれ変わることである。そう信じこむところまで行きます。

若手社員から管理職まで  
各種研修に大好評!

**Upのビデオ**  
研修ビデオ

中堅社員・管理職研修シリーズ

**部下の長所の伸ばし方**  
一人一人の力を組織に生かす3ステップ  
目標達成のための  
**問題点の見つけ方**  
管理者が求められる問題発見解決の4ステップ

監修/東レ経営研究所  
(ビデオテープ1巻40分)  
テキスト10冊・活用マニュアル付

価格/各巻5万円

**命令・指示の出し方**  
仕事を与え、目標を管理・達成する  
実践5原則

**注意の仕方・叱り方**  
部下の意欲を高め、指導育成する  
実践5原則

監修/安田生命保険 教育部  
(ビデオテープ1巻35分)  
テキスト10冊・活用マニュアル付

価格/各巻5万円

(企画・制作)  
日本紙ハルバ商事株/こまソフト開発

お申し込み・お問合せは  
**Upのビデオ**

〒103 東京都中央区日本橋本町4-5-5  
TEL.(03)241-1822

人生「死の行進」よさようなら

